

講演日 2024年05月09日[木] 10:30~11:30

■大地震襲来時、組織の防災担当者は何をすべきか ~災害事例に学ぶ、防災、減災、危機管理~
防災システム研究所 所長 山村 武彦様

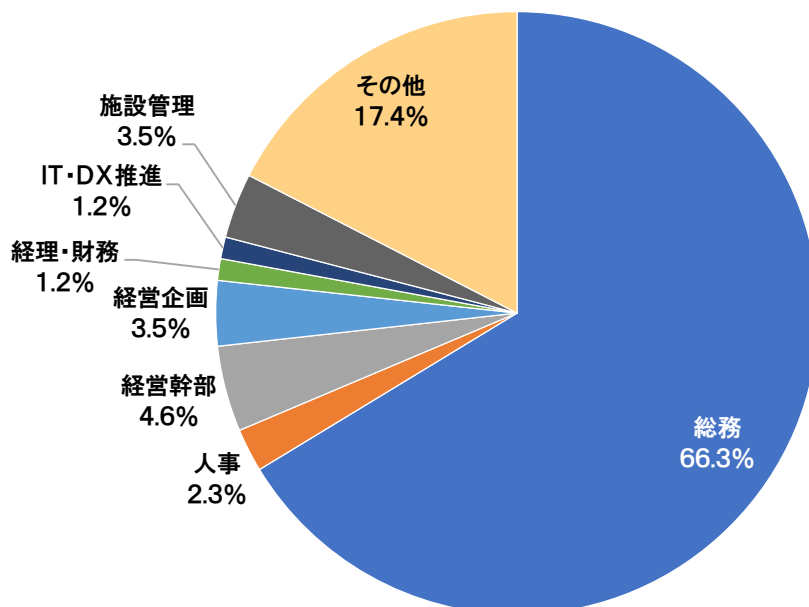
受講者数:470名 アンケート回収率:18.3% 満足度:100.0%

(※満足度=満足回答のパーセンテージ)

1 講演内容の評価



2 受講者の職種



3 講師・講演内容についての感想

- 前にセミナーを聴講して衝撃的だったため、再度聴講しました。
- 講師の説明、時間配分が良くて、集中を切らさずに聞くことができました。
- 最新の情報、台湾地震や能登半島地震での状況と、講師の豊富な知見からくる対策について語られていた。
- 自然災害(特に地震)に対して、大きな災害が起きた時は危機意識を持って、それを維持することが難しい。過去の災害の実情、今後の対策(今すべきこと)に対して関心があった。講演内容がそれに一致した。
- 実際に行動できる防災対策や、互近助力で共助より小さい単位でのつながり強化の重要性を学びました。
- 阪神淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震での、実際の経験に基づくお話で、参考になった。
- BCP も何をしたらいいのか精査したいと思っていたところなので、考え方が学べた。
- BCP 担当のため、聴講しました。
- 企業防災の講演を聞いたかったから、聞いて満足。
- 緊急度の高さ、BCP から CCP という考え方を知ることができた。
- 具体的でわかりやすかった。
- 最新の動向や、具体的事例が多く、とても参考になった。
- 災害対策の担当のため、参加しました。
- 自身、自社の防災の取り組みの方向性と合致した講演をいただき、自信がもてました。
- 実効性のある内容で、大変参考になった。
- 実践的な内容であった。(2)
- 石川能登地方など、国内での大きな地震が頻発する状況。首都圏直下型を想定して情報収集。
- 当社の防災対策に疑問があったので、参加しました。
- 内容が具体的で、実感できた。
- 内容が最新情報だった。新しい気づきが得られた。
- わかっていることが当たり前になっている状態で、改めてセミナーを聴講したことで、色々と再確認できた。形骸化している訓練の考え方を見直すキーワードをいただけた。(消火の前に火を出さない訓練、救出の前に閉じ込められない訓練、等)
- 防災の本質がわかりやすく、また、貴重な映像がみれました。
- 防災訓練の方法、目から鱗でした。

- 防災担当のため、今後の業務に役立つ情報をいただけたらと思い、受講させていただきました。
- CCP という考え方を知ることができた。
- CCP など、新しい学びがありました。
- ありきたりの施策の、脆弱さの気付きを得た。
- これまでに無い考え方に、触れることができた。
- とてもわかりやすかった。(3)
- わかりやすく、現場に即した講演でした。
- 興味ある内容であり、聞きやすかった。
- 興味深い話だった。説得力があった。
- 実際に即し、新しい視点があった。
- 直ぐに実践できる内容もあり、参考になりました。
- 内容はとても実践的で素晴らしかった。
- 防災の対応を再考するべき、と感じました。
- 防災対策など、何か情報を得られないかと思い受講しました。
- 内容については満足。
- 色々新しい知識も得られたが、行政向けの話が多く、自分の会社には向かないことも多かった。